

# 社会の進化とともに ～ MHIの歩み～

創業以来、三菱重工グループはお客さま、パートナー、その他関係する皆さまや社会とともに歩み、時代に先駆けた新しい「ものづくり」に挑戦することで、世界の人々の暮らしを支えるさまざまな製品やサービスを提供し続け、社会の発展に貢献してきました。

「ものづくり」を通じて培った豊富な実績とノウハウ、人材を駆使して、今後も経済発展と環境負荷軽減の両立などの課題に取り組み、世界の人々や地球にとってよりよい未来となるよう挑戦し続けます。

## ものづくりをベースに、 社会的価値の変化や技術革新を取り入れ 事業領域を拡大

■日本の近代化の歩みとともに、造船事業を核に、自動車や航空機、タービン、内燃機関などのさまざまな機械分野に進出し、事業の多角化を進めました。

■終戦後、船舶事業を柱としながら、自動車部門の分離・独立を進める一方で、急増する電力需要や旺盛な民間設備投資に対応し、高度経済成長を支えました。

■深刻な造船不況に対応し、発電設備や航空機等の成長分野に注力するなど、船舶主導型経営からの転換を図るとともに、海外に活路を求めて事業のグローバル化を積極的に推進しました。また、宇宙開発への取り組みに代表される高度な技術力を磨きました。

1880's >>

日本の近代化とともに歩む



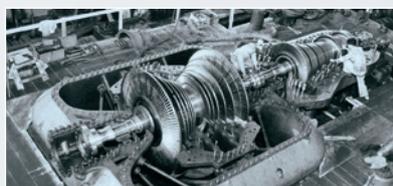
長崎造船所最初の鉄製汽船「夕顔丸」



世界一周親善飛行に成功した「ニッポン」

1950's >>

戦後復興と  
高度経済成長を支える



三菱ウエスティングハウス型タービン



MU-2A型小型多用途機第1号機

1970's >>

技術立国の一翼を担う



製鉄所向け  
圧延プラント



N-1ロケット初号機



ドーバー海峡トンネルTS工区貫通式

## 現在・今後

■ 経済発展に伴うエネルギー需要拡大への対応と環境負荷軽減の両立が課題となる中、再生可能エネルギーを活用した洋上風車、クリーンガスパワー、CO<sub>2</sub>回収プラント、排煙脱硫装置など、さまざまな製品やソリューションを提供し、持続可能な社会に向けて貢献しています。

2000's >>

持続可能な社会に向けて貢献



CO<sub>2</sub>回収プラント

### エネルギーtransition

#### 脱炭素化



水素混焼・専焼ガスタービン

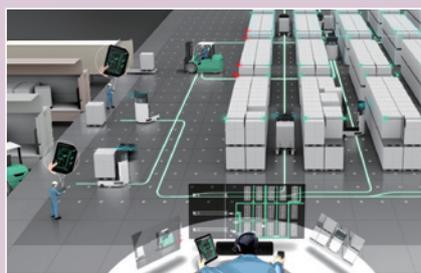


CCS/CCUS(CO<sub>2</sub>回収・利用・貯留)

▶ 詳細はP30の「特集 カーボンニュートラル社会の実現に向けた三菱重工グループの取り組み」を参照ください。

### 社会インフラのスマート化

#### 電化・知能化



“Σ SynX”を適用したAGFコンセプト機

